

令和2年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 スポーツ柔整学科

令和2年度学校関係者評価委員

■保護者

スポーツ柔整学科3年生午前部 青木絢聖の保護者

■企業関係者

立志道接骨院 井谷陽介

■他校関係者（卒業生）

禅整骨院 三橋潤

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
昨年度よりは若干点数が下がっている。学生クレドは読み合わせる機会をつくるなどの工夫をしていく必要がある。		
【改善のための方策】		
今年度はコロナの影響でホームルームの時間をつくることができなかった。来年度は担任が講義に入ったときやホームルームの時間をつくり学生クレドの読み合わせを行っていきたい。		
【関係者評価】		
教育理念・教育目標が明確に示されているので教員側がしっかり理念をもって学生に伝えていけば教育理念・教育目標が浸透されてくるのではないかと。		

2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	B
9	組織内の連携は適切に図られているか。	B
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	B
13	BSCは適切に活用されているか。	B
【現状の問題点】		
コロナ禍ということもあり、難しかった面もある。BSCについては評価がかなり下がってしまったので改善が望まれる。		
【改善のための方策】		
全体的に評価が下がってしまった。業務の効率化を目指し一人一人がゆとりを持って業務を行うことで評価が改善される部分があると思うので、科内で業務分担を行い改善していきたい。		
【関係者評価】		
情報システム化という分野では教員とは関係ないが、フリーWi-Fiを設置していただければ学生がネット等で調べるのにスムーズになるのではないかと。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	B
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	B
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
余裕が持ちにくいところがあるので、どのようにしていくか検討が必要である。		
【改善のための方策】		
資格試験（国家試験やトレーナー資格）の合格率・不合格者の対策の評価が低いため今後科内で検討していきたい。教員数が増加するので不合格者に対するフォローアップができるようにしていく。		
【関係者評価】		
不合格になった理由を分析していく必要があると思う。分析をして学生にしっかりフィードバックすることでフォローアップができるのではないか。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	B
【現状の問題点】		
いろいろと工夫はしているが退学率低減は難しいようである。更に改善を続けていきたい。		
【改善のための方策】		
昨年度と比べると退学率は低下している。成績下位者へのフォローアップ、学生情報の共有、学生生活の充実等を図って退学率を低減していきたい。		
【関係者評価】		
退学率の低減に関しては目標を持たせる教育、成績不良者のフォローアップ、モチベーションの維持が重要になると思う。やはり学生に夢を持たせる教育をすることでモチベーションが維持し、退学率の低減につながれると思う。		

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	B
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に昨年度よりも低下している。学生相談については退学率とも関係するので善処して行きたい。		
【改善のための方策】		
学生相談しやすい雰囲気づくりを科内で検討し善処していきたい。また行事の反省に関しては今年度はコロナの関係で行っていないので来年度は行事ごとに反省を行って活かしていきたい。また進路活動に関する支援は就職説明会を増やしたり、各企業の特別講義を増やすなどして整備していきたい。		
【関係者評価】		
より良い現場見学や学校行事がやはり大事になってくると思う。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
整備を数年計画で検討していくようにし、予算に無理のないように整備を実施していく必要がある。		
【改善のための方策】		
来年度も計画的な予算を作成し、整備していきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	B
【現状の問題点】		
応募者が多く募集は順調であった。より改善に努めていきたい。		
【改善のための方策】		
今年度は入学募集が順調であった。来年度も継続できるように努めていきたい。		
【関係者評価】		
定員に達したことはとても良いことである。今後は退学率低減にもつなげていけると良いと思う。		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
予算等の策定は妥当なものとなるように、毎年改善をしていきたい。		
【改善のための方策】		
少子化で学生数の減少が見込まれるので予算等の策定を慎重に行い、無駄がないように努めていきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	B
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
問題点の改善は重要であるので、努力を続けていく必要がある。		
【改善のための方策】		
自己評価の実施と問題点の改善ができる場をつくり、改善に努めていきたい。		
【関係者評価】		
学生の評価よりも教員の自己評価が厳しすぎるのではないかと。教員がもっと自身をもって評価すればその自身が学生にも伝わるので今後の評価の改善につながっていくと思う。		